

ふらべじ

Flower&Vegetable

Vol.7 1998.
6.30

こもれびの号

発行 北海道立花・野菜技術センター 滝川市東滝川735 TEL (0125) 28-2800 FAX (0125) 28-2299



アスパラガス

Asparagus officinalis

(茎や葉が細かく分かれているの意) (薬用の意)

南ヨーロッパ～ロシア南部原産の涼しい気候が大好きなユリ科の野菜です。雄の株と雌の株があります（たまにはニューハーフも..）。

一般に雄の株は細目の茎がたくさん出て、雌の株は太い茎が本数少なく出ます。そのため生産者の収入を考えて、全て雄の株ばかりにした品種も作られています（そうされたアスパラガスは楽しくないことでしょうか?!）。

栽培法の違いでホワイトとグリーンのアスパラガスになります。現在では栄養面の評価を受けてグリーンアスパラガスがほとんどになっていますが、一つの作物で全く異なった味わいを楽しむことができ、しかも学名にあるとおりに栄養に富んだ野菜です。栽培技術も進み、周年生産できるようになってきています。

大いに愛食いたしましょう！

「空知交5号」は北海道の初夏の味

「空知交5号」は、北海道を代表する良食味の緑肉品種キングメルティの改良版として平成9年度に世に出た緑肉F₁品種で道立農試では初の育成品種です。キングメルティはかつて道内各地で作られ、その肉質と食味の良さはまさに「北海道の味」と呼ぶにふさわしい品種なのですが、着果性・肥大性および果実外観品質が他の品種に比べ明らかに劣るために栽培農家に敬遠され、最近ではごく限られた産地でしか作付けされなくなっています。しかし「北海道の味」が消えゆくことは北海道のメロン栽培の将来にとって憂慮すべき事態ではないかと考え、平成5年度からキングメルティの改良に取り組みました。悪戦苦闘の末出来上がったのが「空知交5号」です。

「空知交5号」はキングメルティの欠点である着果性・肥大性および外観品質の悪さを克服し、うどんこ病とつる割れ病(レ-30、レ-32)抵抗性も持たせてあります。肉質・食味はキングメルティとほとんど差はありませんので、消えかけた「北海道の味」を復活させるにはピッタリの品種ではないかと思えます。しかし、品種に欠点につきもので最大の欠点は肥大性が良すぎるため過肥大しやすく肥大しすぎると糖度が上がらない点です。しかしながらこの欠点は作期を早くし、灌水・ハウス内温湿度および肥培管理で克服できます。



2番目の欠点は、作型・作期の幅が狭いことです。「空知交5号」は急いで育成する必要があったため、冬の間も温室内で選抜を進めました。そのため自然に低温着果性と低温肥大性を獲得し、7月上旬までに収穫する作型には適していますが、それ以降の高温期にかかる作型にはあまり適さなくなっていました。つまり「早出し用」としての使い方しかできないのです。でも逆に「空知交5号」は早出し用高品質大玉の緑肉メロンとして大いに売り出せると思っています。

(野菜第一科 中住 晴彦)

花の追想

北海道に来て30年が過ぎた。昭和43年4月、温暖な静岡県を離れ、日陰に雪の残る札幌での生活が始まったが、なぜかそのまま北海道で一人生きていく。

北海道で迎えた最初の春の印象は鮮烈だった。今でも思い出すのは、5月の連休頃に円山で見た桜と白い辛夷の花の色のコントラスト。その周りをつつむエゾマツの萌える緑の鮮やかさ。その後も同じような光景は何度か見ているが、最初ほどの印象はない。さらにたんぽぽの黄色の絨毯。たんぽぽがこれほど見事な花だとは思わなかった。どうして北海道でたんぽぽがこれほど群生するのか不思議だった。また、家々の庭や大通公園に咲くライラックの白や紫の花も札幌を感じさせてくれた。この花独特の雰囲気、香りはエキゾチックだった。香りといえばアカシヤの白い花。6月の穏やかな宵にそぞろ歩きをしていて、ほのかな甘い香りにつつまれ、



何気なく見上げた木には一と白い花を見たときの驚き、心ときめく時でもあった。このように最初の北海道の春は花々によって印象的、感動的であった。

白い花が好きである。それは辛夷の花の色だから。黒々とした森の中で最初に目に付くのが辛夷の白い花。この花を見つけると、北海道に春が来ると思わせてくれた。昔は雪も好きだった。その雪が消え、いつか何もない時が北海道にはある。その時を終わらせてくれるのが辛夷の白い花。この花に対する思いは・・・。

今、花の仕事に関わっている。“北海道に新しい特産花きを！”という大きな目標がある。30年前にはあったであろう(?)花に対するみずみずしい感性をもう一度取り戻せたら、と思いつつ日常生活が過ぎていく。

(花き第二科 加藤俊介)



小川宏之場長

初めての試験場勤務、見るもの聞くものが皆初めてのことばかりです。ここに来て試験研究の難しさ、奥の深さを学び、研究員の皆さんのご苦勞を改めて知らされ、これまでのように美しい花に見とれていたたり、美味しい野菜に舌鼓を打ってばかりいられなくなりました。皆様方のご指導とご協力よろしくお願ひいたします。



福本一総務部長

4月に農政部酪農畜産課から参りました。試験場勤務は原原種農場（現遺伝資源センター）、上川農試に続いて3カ所目となりますが、上川農試を出てから20年以上経過しております。その間に各試験場も近代化され、職員の方々も新しい感覚で仕事を進めておりますので、私も乗り遅れないように努力して参りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



総務部

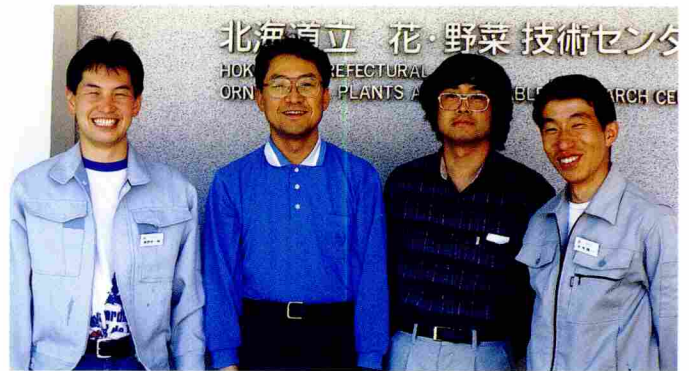
岡めぐみ

古明地俊之

八木正彦
(総務係長)

佐藤信良
(管財係長)

渡辺照治



研究部

植野玲一郎

柿崎昌志
(病虫科長)

角野晶大

中村隆一

若さとパワーで頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

第4回

ガンバレ！ 新農業人いんたびゅ〜

今回の若き???農業者は伊達市の平松昭さんです。札幌でサラリーマン生活をしてきた平松さんですが、なぜ農業を始めようと思ったのでしょうか。

◎まずは自己紹介をお願いいたします。

・昭和23年12月1日生まれの49歳です。

平成9年11月に伊達市に移住し、農家で土作りや育苗、栽培技術を実習しています。現在は妻と犬1匹、猫6匹で楽しく生活しています。

◎なぜ農業を始めようとした？

・妻が趣味で花やハーブの栽培をしていたのもあって子供が独立したのを機に、夫婦で花き栽培をしてみようと思ひまして。道内をいろいろ探して、環境の良さや普及センターの紹介で伊達に移住しました。今、花を栽培していることがとっても楽しいです。



◎今後どのような経営をしていきたいですか。

・まず、花き栽培を基礎から勉強することです。花にはいろんな可能性があると思うので、将来的にはハーブなどを利用した園芸療法に関することができればと思ひています。

◎ありがとうございました。

花・野菜技術センターのホームページ開設

花・野菜技術センターでは、この4月からホームページを開設いたしました。花と野菜に関する情報や、センターで行われている試験研究の内容などを、農業関係者のみならず一般の方々にも広く紹介し、より身近に感じていただくのが目的です。開設から約一ヶ月半が過ぎ、閲覧者数は360人を越えました。

主な内容は、センターの概要、研究、研修、普及の各部門の紹介、実施中の試験課題や研究成果の情報などで、写真や図表を多く用い、わかりやすいページ作りを心掛けています。

今後とも随時更新を行い、内容を充実させていきたいと考えておりますので、是非ご覧の上、ご意見、ご感想などをお寄せ下さい。

URL: <http://www.agri.pref.hokkaido.jp/hanayasai/center.htm>



English
(Last Updated: Jun 3, 1998)

[最終更新日:平成10年6月3日]
1998年4月21日以来

1000 人目の訪問者

北海道立花・野菜技術センターは、北海道の恵まれた生産環境から、より安全で良質なものを消費者にお届けできるよう新品種や新技術の開発・普及を一層促進するため、花と野菜の専門農業試験場として、平成8年4月に開設しました。

試験研究や技術研修を総合的にコーディネートし、北海道の農業のさらなる可能性を拓いていきます。

HOT NEWS!!	研究部 の 紹介	花き部門
花・野菜技術センターの概要		野菜部門
広報誌「ふらべじ」		環境部門
研修事業について		試験課題一覧
専門技術員ってなに?		研究成果一覧
総務課のお仕事		リンク集

編集後記

今年の公開デーは

9月12日土曜日です!

今年も当センターは滝川畜産試験場と共催で、一般公開を行います。今年により多くの皆さんに来ていただけるよう、学校がお休みの土曜日に開催いたします。

花や野菜の展示、フラワーアレンジメント教室、農業機械の実演のほか、子豚やひよこことのふれあいコーナーやお肉の試食などもあり盛りだくさんです。

秋のさわやかな一日を東滝川で過ごしてみませんか?

<併催行事>

野菜シンポジウム

「北海道における野菜栽培の展望と試験研究」

各農業試験場の若手研究員が北海道の野菜の将来についてそれぞれの思いを熱く語ります。

9月11日(金) 13時より

滝川市文化センター 小ホール

◆去年の今頃は産科の病棟にいたのだなあ。あの時の新生児が今では立派なイタズラ坊主です。バタバタと過ぎていく毎日だけれど、子供は周りの世界をしっかり吸収しながら大きくなっていきます。この小さな芽に私はどんな土や水や光を与えられるでしょう・・・。また帰ってきました。楽しみながらがんばります!(アラレ)

◆赴任早々に新スタッフ紹介の担当となり、いち早く場長や総務部長や新しく加わられた方々とお話ができました。まだ、何をやっているのかわからない毎日が続いています。足を引っ張らないように頑張りますのでよろしく願いいたします。(A.S.)

◆夏がやってきますが、今年は特に予定がありません。最大の原因は資金不足ということです。私の経済難はいつまで続くのでしょうか。あと2年、車のローンが終わるまでは辛抱しよう。(T)

◆また同じことを記す身の辛さ・・・・・・・・・・・・・・・・何もせずにゴメン (03)

◆新規採用で花・野菜技術センターに来て早3カ月。すでに初々しさよりふてぶてしさが目立っている(!?)新人です。次号はファイルメーカー編集に挑戦します。(R.U)